

# 令和6年度 加納中学校経営構想

## 1 学校課題

### 【生徒の実態】

- ・ 落ち着いた態度で学校生活に取り組める生徒が多い。
- ・ 地域ボランティアに参加する生徒が多い。
- ・ 自分に良いところがないと思ったり、将来に夢や希望を持てなかつたりする生徒がいる。

### 【保護者・地域社会の願い】

- ・ 学力の向上と豊かな人間性の育成
- ・ 安全安心な地域生活と地域行事への参加

### 【岐阜市教育委員会の方針】（教育大綱）

学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する。

- 自分にはよいところがあると思う …全校 84.4%
- 将来の夢や希望を持っている …全校 76.2%

- |        |                         |   |             |
|--------|-------------------------|---|-------------|
| 【学校課題】 | ■ 主体性の育成を柱とした教育の推進      | ➡ | 学校経営の重点 (1) |
|        | ■ 誰一人置き去りにしない教育の追求      | ➡ | (2)         |
|        | ■ 教職員研修の充実 (自ら学ぶ教職員の育成) | ➡ | (3)         |

## 2 学校の教育目標

『自ら学び 自ら治め 自ら愛することのできる生徒を育成する』

- |            |           |       |                 |
|------------|-----------|-------|-----------------|
| 3 学校の経営の理念 | 「 加中教育観 」 | 【生徒観】 | どの生徒も伸びようとしている  |
|            |           | 【指導観】 | 受容と毅然 (まずは受容から) |
|            |           | 【心得】  | 生徒のありのままを受け止める  |

## 4 学校経営の重点

### (1) 「自学 自治 自愛」を具現する教育活動への変革 ～主体者意識の育成～

- ☆教科指導への矜持をもつ (教科担任第一声＝「公約」・個の学力保障・小中連携の歩み出し)
- ☆社会人と学ぶ総合的な学習“ぎふMIRAI”s (キャリア教育の中核・小中連携の具体化)
  - …探求的な学習過程：キャリアについて考え、行動し、振り返りながら新たな気づきを得る
  - 3学年を貫くものは「志」(自分以外の誰かのために、自分の力を活かそうとする強い意志)
  - 1年生「チェンジ (変化への挑戦)」→2年生「マーケティング (職能から自分を発見)」
  - 3年生「ブランディング (誇りある自分の確立)」…テーマは系統性重視 (ストーリー化)
  - 各学年のゴールは「どんな人間になりたいか」
- ☆個性が輝く学年学級づくり
- ☆社会に関わろうとする意欲や志を育てる生徒会活動 (真のリーダー育成・小中連携の発展)
  - ・率先垂範による道徳教育 (心) と生活指導 (姿) …「自分から挨拶」できる生徒に

### (2) 「加中文化」の継承・発展 ～支持的風土の醸成～

- ・ 誰一人置き去りにしない教育の追求
- ・ 心の「安全基地」づくり (教育相談体制)
- ・ 基盤となる健康教育 (3つの課題：朝食欠食・就寝時刻・スマホ)
- ・ いじめの未然防止、早期発見と確実な対応 … 生徒につく (登校から下校まですべてを見届ける)
  - 「ここタン」早期発見ツール
  - いじめ事案 (疑い含む) はすべて校長まで報告 (当日中)

### (3) 教職員に力をつける学校 ～「観」を持ち、自ら動く～

- ☆人間性を磨く
- ☆若手は「学級経営力・教科指導力」を、中堅は「リーダーシップ」を身につける →諸会議の工夫